

外部評価実施報告書

項目別評価	評定
教育の取組と成果 (人文社会科学部)	IV
教育の取組と成果 (社会文化システム研究科・ 社会文化創造研究科 (社会文化システムコース))	III
研究の取組と成果	III
社会貢献の取組と成果	III

評定は以下の4段階から選択願います。

- IV 非常に優れている。
- III 優れている。
- II 相応である。
- I 不十分である。

令和 6年 12月 20日

氏名 : 阿部 宏慈 (自署)

【優れている点】

学部においては、学位授与の方針（DP）を明確に定め、それに基づき教育課程（CP）を整合的に編成・実施している。また、それらに則り、五コースそれぞれについて、入学者受入れ方針（AP）を明示している。教育の内部質保証の重要性を十分に意識しつつ、練り上げられた教育体制は高く評価できる。教育内容の充実を図るため、「カリキュラム・チェックリスト」や「基盤力テスト」を導入し、「プログラム・レビュー」を実施するなど、学生の学修進捗状況を適切に把握し、教員が教育内容を自己点検評価する努力をおこなっている点はすぐれている。

教育環境は、双方向のオンライン授業のためのWi-Fi環境の整備や、情報処理教育の教室の充実など、今日の大学教育にとって重要なツールを備えている。

国際性の涵養をめざし、コースによっては海外研修を必須とするだけでなく、「異文化間コミュニケーション1」への支援獲得など、学部独自の経済的支援も評価できる。

また現代社会を理解し、人文社会的思考方法を身に着けるべく、人文科学系二コースと社会科学系三コースを整備している点も学生にとっては魅力的であろう。

研究においては、ナスカの地上絵研究の目覚ましい成果をはじめ、大学全体に貢献するような研究をはじめ、映像や文学、さらには経済学など多様な領域での研究活動が評価できる。

【改善を要する点】

大学院の修了生の就職や進学について一層の助言、支援をおこなうことも検討してよいのではないか。

【助言、提言等】

教育の内部質保証の観点からすれば、学生の学修成果の可視化の努力がさらに評価を高めるためには有用であるだろう。カリキュラム・チェックリストを見る限り、多くの教員が、到達目標を獲得すべきキーコンピテンシーの三カテゴリーに即して記述している点は評価できる。それらが実際にシラバスなどでの評価方法と連動し、整合性ある構造化がなされていることは想定できるが、今後は、学生自身による学習成果の自己管理システムを充実することも求められるだろう。

人文社会科学領域でのすぐれた研究成果を社会に還元する努力を続けておられることは高く評価したい。今後ともそれらの積極的な発信を続けられることを期待したい。

外部評価者 氏名 阿部 実希

評価観点

1. 教育

適合されているかを
○△×ご記入ください。

1 学位授与の方針 (DP) が具体的かつ明確に定められているか。	<input type="radio"/>
2 教育課程の編成・実施の方針 (CP) が学位授与の方針 (DP) と整合しているか。	<input type="radio"/>
3 入学者の受入方針 (AP) において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。	<input type="radio"/>
4 入学者の受入方針 (AP) に則して、適切な学生の受入が行われているか。	<input type="radio"/>
5 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっているか。	<input type="radio"/>
6 教育プログラムを構成する各授業科目の内容は、学位授与の方針 (DP) 及び教育課程の編成・実施の方針 (CP) に則して、体系的かつ相応しい水準にあるか。	<input type="radio"/>
7 学位授与の方針 (DP) 及び教育課程の編成・実施の方針 (CP) に則して、適切な授業形態、学習指導方法が採用されているか。	<input type="radio"/>
8 教育課程の編成・実施の方針 (CP) に則して、公正かつ厳格な成績評価が行われているか。	<input type="radio"/>
9 教育プログラムに対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されているか。	<input type="radio"/>
10 学位授与の方針 (DP) に則して、適切な履修指導、支援が行われているか。	<input type="radio"/>
11 生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われているか。	<input type="radio"/>
12 学位授与の方針 (DP) に則して、公正な卒業（修了）判定が行われているか。	<input type="radio"/>
13 学位授与の方針 (DP) に則して、適切な学習成果が得られているか。	<input type="radio"/>

2. 研究

研究活動の実施状況（例えば、研究出版物、研究発表、特許、その他の成果物の公表状況、国内外の大学・研究機関との共同研究、地域との連携状況、競争的研究資金への応募状況等）から見て、研究活動が活発に行われているか。	<input type="radio"/>
研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され、機能しているか。	<input type="radio"/>

3. 地域・社会貢献

1 教育及び研究を通して、地域や社会の発展に資するような活動が行われているか。	<input type="radio"/>
---	-----------------------